

『血液さらさらの薬とは』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



外来で患者さんから「血液さらさらの薬を飲みたいのだけれど、、、」と言われることがあります。血液さらさらの薬といってもいろいろな解釈・種類があり、主に以下の3つが挙げられます。

1) 抗血小板薬 (商品名: バイアスピリン、プラビックス等)

血管についた傷を修復して出血を止めてくれるのが血小板ですが、抗血小板薬は血小板の働きを抑えることにより血管が血栓で詰まってしまうのを予防する薬です。主に脳梗塞や心筋梗塞の予防のために用いられます。

2) 抗凝固薬 (商品名: ワーファリン、プラザキサ、イグザレルト等)

血液そのものを固まりにくくする薬です。心房細動という不整脈に伴う脳塞栓症発症の予防や下肢静脈血栓症、肺塞栓症、心臓弁膜症術後の患者さん等に用いられます。

3) 脂質異常症改善薬 (商品名: メバロチン、リピトール等)

血液の中の悪玉コレステロールや中性脂肪が高い状態を脂質異常症といいます。血液の中の脂質が多いと、いわゆる血液ドロドロの状態ですので血管が早く傷み、動脈硬化が進んで脳卒中や心筋梗塞発症の危険性が高まります。これを改善する薬も血液さらさらの薬と言えます。

このように血液さらさらの薬は脳梗塞等の病気を予防する効果がありますが、使用法を誤れば逆に出血の危険性を高めることもあり、基本的には持病の無い健康な人は服用する必要はありません。また、これらの薬を服用中の方は自己判断で内服を中止すると危険なこともあり、しっかりと服用することが大切です。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000